

平成三十年度 大妻中野中学校 第一回海外帰国生入試

十一月二十五日 問題用紙

国語

座 席 番 号
番

受 験 番 号
番
氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて七ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認して下さい。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を記入してください。座席番号と受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

1. 自分を信じよう

将来何をしたいかわからない、自分が何に向いているのかわからない、未来は何となく暗そうで心配だ……。何だか自分でもわからないモヤモヤの心配ごとで、自分の未来は暗いと思っている人が多いようです。

A、あなたがそんな一人だったら、私はあなたに「自分を信じよう！」と声をかけたのです。

この本の中でも述べましたが、私をはじめ照明と出会ったのは、大学を卒業して二年目のことでした。自分がデザインした照明器具に光が灯った時、私は感動したのです。

「何て光って素晴らしいのだろう！この光で形も色もわかる。部屋全体がこの光で支配される！」

こう強く思ったのが、私の出発点でした。光をもっと学ぶために、私は北欧とドイツへ行きました。

帰国してからさまざまな苦勞の末、私は何とか「照明デザイン」を自分の仕事としてスタートさせました。その原動力となったのは、「(1)」という自分の感動でした。

「こんな素晴らしいものを、人が理解しないはずはない」というのが、私の活動のエネルギー源だったのです。

「ライトアップ」は、今では誰でもわかる(2)な言葉となりました。**B**、私をはじめで京都市でライトアップの実験に取り組んだ一九七八年には、そんな言葉は誰も知りませんでした。二条城や平安神宮に光をあてた時には、道行く人々には映画かテレビのロケーションと思われたのでした。

C、その後八年間、私は全国でライトアップ・キャラバンという活動を*₁手弁当で行ってきましたが、これを支えたのは、光を浴びて浮かび上がった二条城の*₂隅櫓すみやぐらと平安神宮の朱色の*₃楼門ろうもんの美しい姿でした。

光によつて、こんなに美しい景観がつくれるということに、まず自分自身が感動したから、ライトアップ・キャラバンを続けることができたのだと思います。

自分がこんなに美しいと感動したことは、人もそう思うに違いないと、私は心の中で確信していました。**D**、それを実現させるためにかかる費用は決して大きくないのです。大勢の人々が共感してくれるはずだというのが私の信じたことでした。

結果、その後の二十年の中で、私は東京タワーやレインボーブリッジ、函館や長崎の夜景など、たくさんプロジェクトにかかわることができました。

でも、思い返してみると、それらの原点は、一つの照明器具から出た光に感動したことでした。

今日の各都市で見られるライトアップのはじまりは、**①私**が京都市に受け入れられなかったために実行した、ライトアップ実験だったと思っています。

自分が美しいと思ったことは、人も美しいと思うのです。自分が感動したことは、人も感動させるのです。

ですから、自分が美しいと思ったこと、自分が感動したこと——そういう自分の感じたことを、どうぞ素直に信じてみてください。きっと、それらはあなたがこれから漕ぎ出す未来の海の、あなたの小さな舟の②行き先を照らす篝火^{かがりび}となってくれることでしょう。

2. 世界の中の日本

今、日本は、とても豊かで美しい国になってきたと私は思っています。第二次世界大戦を幼い頃に経験した私は、モノがない時代を知っています。戦争中は、いつもお腹が空いていました。戦後は、ほしくても本もお菓子も買えなかったのです。なぜかという売っていないからです。

現在ではそんなことは嘘のように、街の本屋さんにはたくさんの本が並んでいるし、スーパーに行けば、驚くほど多くの種類のお菓子が棚いっぱい並んでいて、どれを買ってよいかわからないほどです。

私が小学校の頃、東京の街はほとんど舗装^{ほそう}されていませんでした。雨が降ると長靴をはき、それでも泥ハネがスカート^{すそ}の裾を汚しました。家の前にはドブ（雨水や下水の流れる側溝）があつて、毎月一回近所の人たちが総出で掃除をしたものです。

今は、東京では住宅地の小さな道でも舗装されているし、家の前のドブは[※]暗渠^{あんきょ}になって下水管として埋められています。

そして、何よりもありがたいのは、日本が平和なことです。テレビのニュースでイラクやアフガニスタンの映像を見ると、地球上にはかつての日本のように戦争に苦しんでいる人たちがいると、心が痛みます。

空襲警報もなく、いつ大事な父親が戦争に行ってしまうこともない、この平和な日本は、本当に幸せなことだと思つています。

しかし、こういったことは、すべて当たり前で、何か自分にこもりがちな人が目につきます。

最近、若い人たちに海外志向がなく、日本にこもりたがるという話をよく聞きます。自分にこもると同じように、日本の中にこもるのは、本当に残念なことです。

世界の人口の中で、日本人はたった二%なのです。私の若い時には、海外へ行くことが大変でした。

世界の中の二%の国に留まっています、何も見えません。たくさんものを見て、大勢の人に会って、文化の違い、考え方の違い、風土や歴史の違いといったさまざまな相違に目を向けてみましょう。

日本の中だけで見えていた自分、感じていた自分と、きつと随分^{ずぶぶん}③違った自分が出現することになるでしょう。

(注)

- ※1 手弁当…自費で、あることのために働くこと
- ※2 隅櫓…城の隅に高く建てられた建物
- ※3 楼門…二階建てになった門
- ※4 暗渠…外から見えないようになっていた水路

問一 文中の **A** **D** に入る言葉として適切なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア. だから イ. でも ウ. まして エ. もし オ. そして カ. まるで

問二 (1) に入る適切な表現をこれより前の本文から八字で抜き出しなさい。

問三 (2) に入る適切な語を次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア. 代表的 イ. 一般的 ウ. 感動的 エ. 具体的

問四 — 部①「私が京都市に受け入れられなかった」とありますが、それはなぜですか。次の中から理由として最も適切なものを一つ選び、

記号で答えなさい。

- ア. その時にはすでに、京都市より先に各都市でライトアップがはじめられていたから。
イ. 京都周辺は、映画の撮影場所として広く理解されている場所だったから。
ウ. 京都の古風なイメージにライトアップというもののイメージが合わなかったから。
エ. 当時はライトアップというものがどういものか周囲の理解がなかったから。

問五 — 部②「行き先を照らす篝火」というたとえは、ここではどういう意味で使われていますか。次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. まだ一人では海に出られない小舟のような若者をしつかりと援護してくれる。
- イ. これから世界中で活躍していく若い世代がどの国に進むべきかを示してくれる。
- ウ. 若者の持つ無限に広がる可能性のうち、どのような道に進むかのヒントになる。
- エ. 自分の感覚を信じ込んでしまう若者に、他の可能性もあるということを教えてくれる。

問六 次の一文は本文の 2. 世界の中の日本 から抜き出したものです。本文中のどこから抜き出したのでしょうか。抜き出した場所の直前の五文字（句読点含む）を答えなさい。

今はいつでもどこにでも自由に行くことができます。

問七 — 部③「違った自分が出現する」とありますが、海外に行くとなぜ「違った自分が出現する」のでしょうか。
2. 世界の中の日本 の内容全体をふまえて、四十字以内で答えなさい。

問八 本文の内容を説明した次の文を読み、本文の内容を正しく説明できているものに○、間違っているものに×を、それぞれ答えなさい。

- ア. 誰も知らなかったライトアップという言葉を日本中に広めるということが、筆者がこの仕事を選んだ一番の理由である。
- イ. 他人や世間がどう評価するかということよりも、まずは自分が良いと思うものに自信を持つことが大事である。
- ウ. 豊かさと平和が約束されている国を、世界の2%しかない日本人が作ったことに、若者は誇りを持つべきである。

二 次の各問に答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の——部の漢字を正しい漢字に直しなさい。

- ① 日曜日ニは運動場を解放する。
- ② 私の家族の中でも、母親の口が一番硬い。
- ③ ずっと同じ体制ニでいると腰が痛くなる。
- ④ この建物からの脱出ヲを測る。

問二 次の——部について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 春の火災ヨボウ運動。
- ② ヨサンニが足りなくなる。
- ③ その話は一切知らない。
- ④ 急いで支度ヲをしてください。

問三 次の□に漢字(二字)を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- | | | | |
|------|---|---|------------------------|
| ① 天変 | □ | ： | 〈意味〉雷や嵐など、自然界の大きな変動のこと |
| ② 日進 | □ | ： | 〈意味〉日に日に進歩すること |

B ことわざ・慣用句に関する問題

問四 次のことわざ・慣用句の空欄部 に入れるのにふさわしい言葉をそれぞれ答えなさい。なお、解答にあたっては漢字とかなを交えて「」に指定された字数で答えなさい。

- ① 「朱に交われれば 」【4字】 … 〈意味〉人は環境によって善人にも悪人にもなる、影響されやすいものだということ。
- ② 「出る杭は 」【4字】 … 〈意味〉才能があると、他から憎まれ、妨害されるといふこと。
- ③ 「待てば海路の 」【4字】 … 〈意味〉気長に待っていると、いつかやがて幸運がやってくるということ。
- ④ 「喉から 」【4字】 … 〈意味〉ほしくてたまらない様子。
- ⑤ 「付き」【2字もしくは3字】 … 〈意味〉立派なものとして信用できると保証された事物や人物。

C 文法・言葉づかいに関する問題

問五 次の——部の表現を※以降の指示の通りに書き換えなさい。

例) この部屋は暑い。 ※悪いイメージを含む表現に言い換えてください。 ↓ 答) 暑苦しい

- ① この小説はとても長い。 ※悪いイメージを含む表現に言い換えてください。「長過ぎる」は不可。
- ② この公園はとても広い。 ※悪いイメージを含む表現に言い換えてください。「広過ぎる」は不可。
- ③ 弟はとても心配性で、なかなか行動に移そうとしない。 ※良いイメージを含む別の言葉に言い換えてください。
- ④ 姉は人の意見に耳を貸したり自分のやり方を変えようとせず、とても頑固だ。 ※良いイメージを含む別の言葉に言い換えてください。
- ⑤ 先生が申された通りに、宿題を終わらせた。 ※正しい敬語に直しなさい。